冬期間の災害に備えましょう

冬期間の災害への備えは、地震などの災害が冬に発生した場合を想定し、夏とは違った防災対策が必要となります。

●冬の地震への備え

災害時の停電などに備え、非常持出品（食糧や飲料水、防寒具、使い捨てカイロなど）のほか、**電力に頼らない暖房器具（ポータブルストーブ）や灯油など**を準備しておきましょう。

●暴風雪への備え

冬は天候が急変することがあります。

テレビやラジオなどで防災情報を得るとともに、暴風雪が予想される場合には外出を控えましょう。

◎気象情報
→（旭川地方気象台ホームページ）https://www.jma-net.go.jp/asahikawa
◎通行止め情報
→（北海道地区道路情報）http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/

①やむを得ず車で外出する際は

◎防寒着や長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを車に準備して外出しましょう。
◎車の燃料が十分であるかを確認しましょう。
◎運転していて危険を感じたら、無理をせずに、ガソリンスタンドやコンビニエンストアなどで天候の回復を待ちましょう。

②吹雪で車が動けなくなったら

遭難をして車内で救助を待つ場合、車が雪に埋もれた状態でエンジンをかけ続けていると、排気ガスが車内に充満し、一酸化中毒になる危険性があります（窓が開けていても絶対安全とは言えません）。マフラーが雪に埋まらないように定期的に除雪し、窓を開けて換気を行うなどし、救助を待ちましょう。

皆さんのご家庭でも、雪が降る前に冬に備えた対策を始めましょう。

問 市・総務課　☎ 56-5005